

## 頑張る地方応援プログラム

都道府県名	千葉県	市町村名	松戸市
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	緑のカーテン全市普及プロジェクト	新規・継続の区分	継続
---------	------------------	----------	----

プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	(目的、概要) 松戸市では、地球温暖化防止のため松戸市地域省エネルギービジョンを推進していますが、その取り組みの中で、全市を対象に「緑のカーテン」の普及を図っています。「緑のカーテン」は楽しみながら省エネルギーができ、それが、他の省エネルギー行動につながるだけでなく、植物を育てる喜びや緑による癒し効果など、省エネルギー以外の効果も期待できます。松戸市は、夏になると家々やマンション、店先などいたるところで緑のカーテンが見られるまちを目指します。													
	(具体的な成果目標) <table border="0"> <tr> <td>公共施設の設置基数</td> <td>平成18年16箇所</td> <td>平成22年100箇所</td> </tr> <tr> <td>緑のカーテンコンテスト応募者数</td> <td colspan="2">平成19年度の応募者数を基準に平成22年度2倍に</td> </tr> <tr> <td>作り方チラシ配布数</td> <td>平成18年度1200部</td> <td>平成22年度2000部</td> </tr> <tr> <td>地球にやさしい行動宣言者数</td> <td colspan="2">平成19年度を基準に平成22年度は5倍に</td> </tr> </table>			公共施設の設置基数	平成18年16箇所	平成22年100箇所	緑のカーテンコンテスト応募者数	平成19年度の応募者数を基準に平成22年度2倍に		作り方チラシ配布数	平成18年度1200部	平成22年度2000部	地球にやさしい行動宣言者数	平成19年度を基準に平成22年度は5倍に
公共施設の設置基数	平成18年16箇所	平成22年100箇所												
緑のカーテンコンテスト応募者数	平成19年度の応募者数を基準に平成22年度2倍に													
作り方チラシ配布数	平成18年度1200部	平成22年度2000部												
地球にやさしい行動宣言者数	平成19年度を基準に平成22年度は5倍に													

プロジェクトの期間	平成19年度～平成22年度	政策分野の分類 ( ~ )	環境保全プロジェクト
-----------	---------------	------------------	------------

住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	広報まつど 本市ホームページ <a href="http://www.city.matsudo.chiba.jp/">http://www.city.matsudo.chiba.jp/</a> (「暮らしの情報」「環境・公害・ペット」「はじめよう地球温暖化防止」内)		
----------------------------	---	--	--

## プロジェクトを構成する具体の事業・施策

名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH20事業費)
公共施設への緑のカーテンモデル設置	市役所、学校、保育所、支所など、市民が多く訪れる施設に、緑のカーテンを設置し、市民の皆さんが緑のカーテンを知り、体感するきっかけを提供する。また、作り方や効果の情報提供の場とする。	12,940 (1,611)
市民・事業者へのPR事業	各種イベントで緑のカーテン用の苗を作り方チラシ等を添えて配布する。広報まつど、商工会議所だより、市のホームページで緑のカーテンの作り方や効果をPRする。緑のカーテンコンテストを実施し、緑のカーテン設置への意欲を高める。新聞、折込紙、テレビなど、マスメディアへ情報を提供し、広域でのPRを実施する。	1,244 (267)
緑のカーテンをきっかけにした環境学習の推進	緑のカーテン設置小・中学校などを対象に、地球温暖化や省エネルギーに関する出前講座を民間と協働で実施し、緑のカーテンをきっかけにした環境学習体制を整備する。	0 (0)
緑のカーテンをきっかけにした「地球にやさしい行動宣言」の推進	緑のカーテンの出前講座を実施した際に「地球にやさしい行動宣言」をしてもらうことにより宣言者を増やし、市民みんなで地球温暖化防止に取り組む。	312 (0)
総 計		14,496 (1,878)

## その他特記事項

平成18年度に本庁舎で作ったゴーヤの種が、ボランティアの手でカンボジアに渡り、平成19年度の夏はカンボジアの小学校で本市産のゴーヤが育ちました。平成20年度にはそのゴーヤからとれた種が再び戻ってきて、一部を本庁舎で育成し、残りの苗を市民へ配りました。緑のカーテンを通じてカンボジアとの交流が実現しています。